



# GMB 株式会社

## 2012年3月期決算説明会資料

2012年5月23日・24日



(リポート型等速ジョイント)

証券コード 7214

<http://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



2012年3月期実績

2013年3月期計画

今後の事業戦略

# 2012年3月期 損益実績



(単位：百万円・%)

	FY2010		FY2011		前期比	
	金額 (百万円)	(構成比)	金額 (百万円)	(構成比)	差額	増減率 (%)
売上高	43,967	(100.0%)	47,690	(100.0%)	+3,723	+8.5
売上総利益	8,305	(18.9%)	8,604	(18.0%)	+298	+3.6
営業利益	2,871	(6.5%)	2,830	(5.9%)	▲41	▲1.4
経常利益	2,470	(5.6%)	2,710	(5.7%)	+240	+9.7
純利益	1,420	(3.2%)	1,493	(3.1%)	+73	+5.1
EPS(円)	272.49	-	286.55	-	-	-

【最近5年間の業績推移】

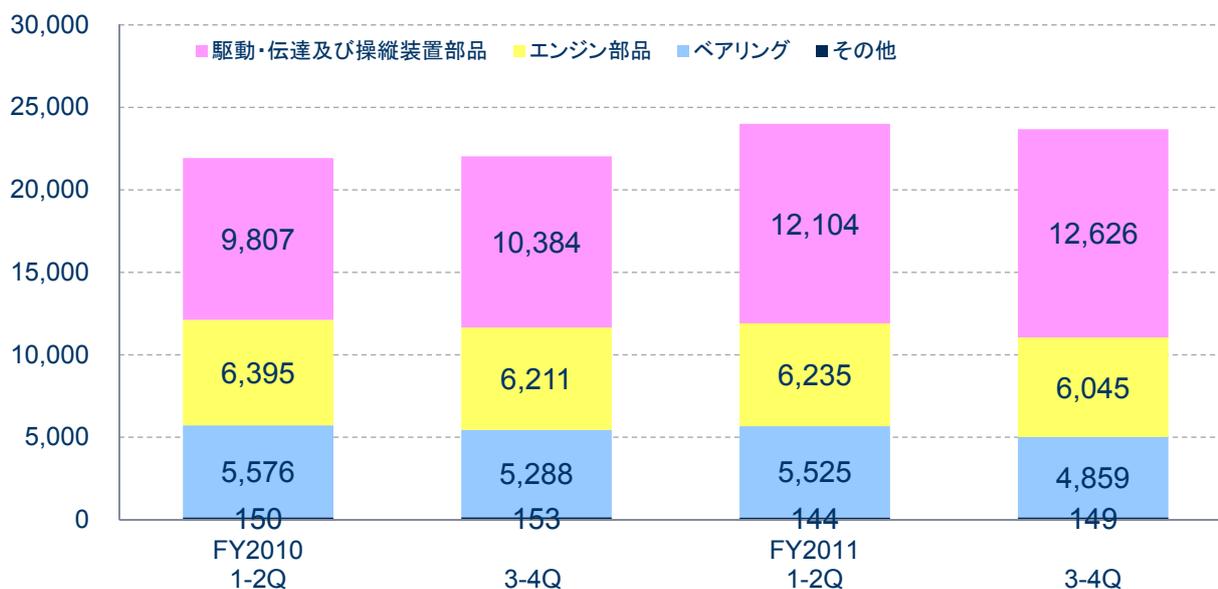


-3-

## 売上高の品目分類別実績推移 (半期毎)



(単位：百万円)



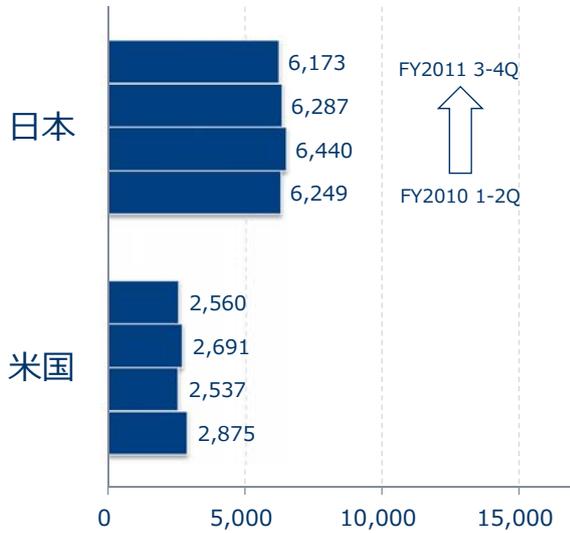
韓国新車用のバルブスプール、ピニオンシャフトなどAT部品や等速ジョイント、欧州向けユニバーサルジョイントが下期も順調に推移。ウォーターポンプは米国の新たなチェーンストア取引開始するも、他地域苦戦で後半失速。補修用テンショナー・アイドラー・ベアリングは主力の北米市場で調整長引く。

-4-

# セグメント実績推移 日本・米国（半期毎）

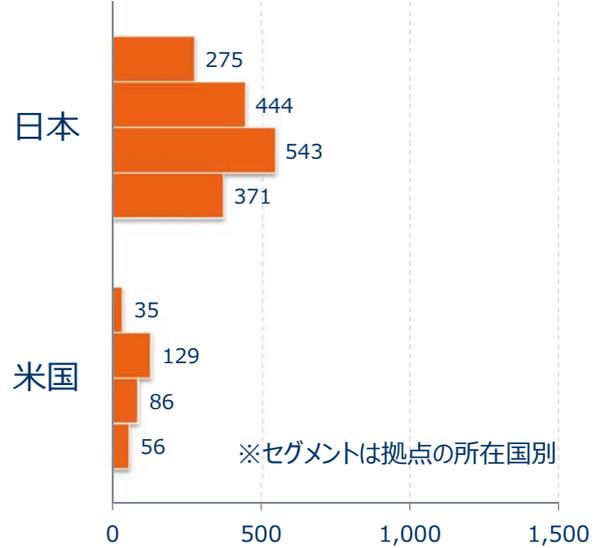


外部売上高



セグメント利益

(単位：百万円)



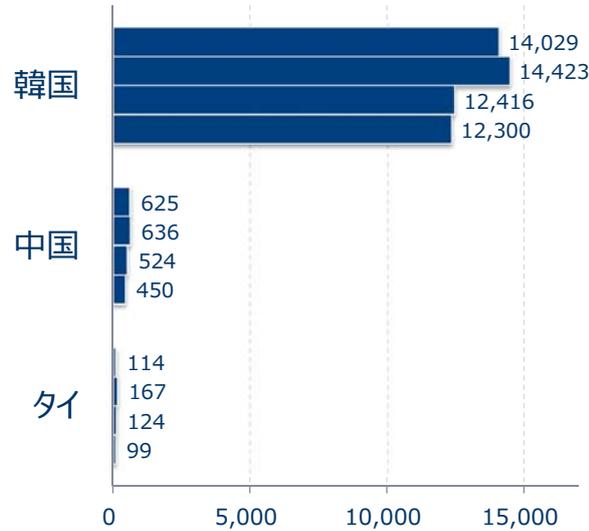
※セグメントは拠点の所在国別

日本は、後半、円高による顧客の買い控えで海外補修用部品の販売低迷し、減収減益。  
米国も、後半、補修用ウォーターポンプ、テンショナー・アイドラー・ベアリングの顧客在庫調整つづき、下期減益へ。

# セグメント実績推移 韓国・中国・タイ（半期毎）



外部売上高



セグメント利益

(単位：百万円)

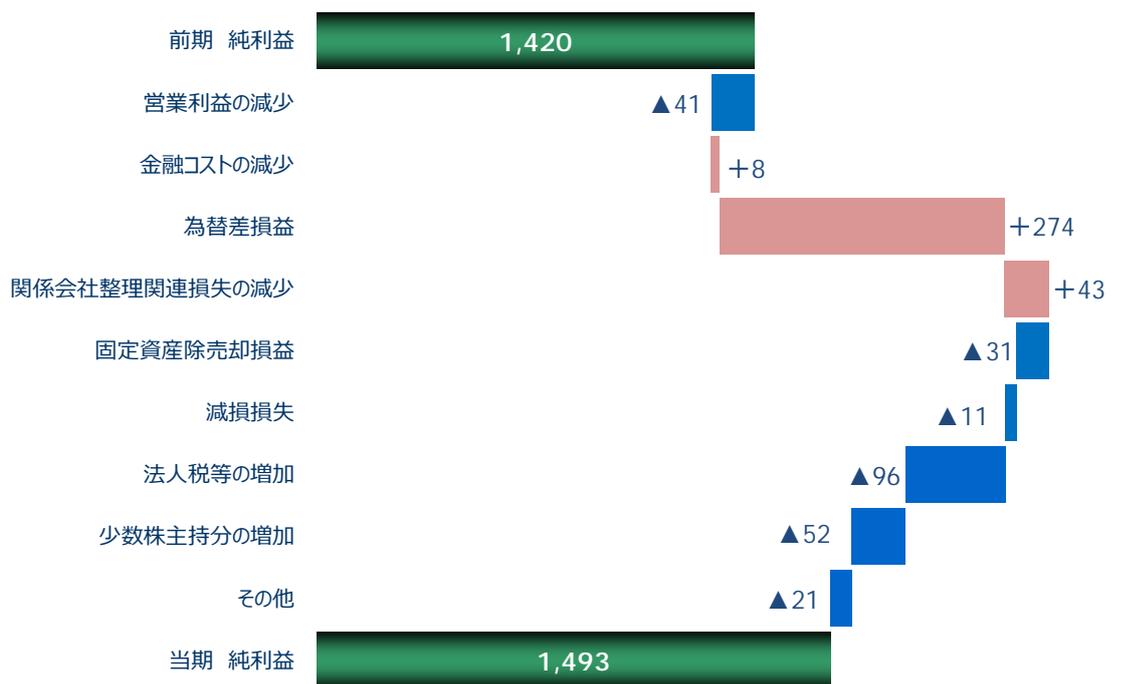


韓国は、引き続き新車用部品販売が順調に拡大する一方で、人件費や調達コストの上昇により下期収益圧迫。中国は、新工場フル稼働の遅れや生産コストの上昇により下期赤字へ。タイの生産拠点は、洪水の影響もなく、補修用ウォーターポンプ生産拡大により増益。

# 営業利益以下の増減要因（通期）



（単位：百万円）



- 7 -

# キャッシュ・フローの実績（通期）



	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	3,227	2,048	▲ 1,178
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,962	▲ 3,780	▲ 817
財務活動によるキャッシュフロー	730	452	▲ 278
フリーキャッシュフロー	264	▲ 1,732	▲ 1,996



## 【 当期の主な増減要因 】

- 営業CF
  - 税金等調整前利益 2,670 百万円
  - 減価償却費 2,437 百万円
  - 売上債権の増加 ▲1,396 百万円
  - たな卸資産の増加 ▲1,887 百万円
  - 仕入債務の増加 419 百万円
  - 法人税等の支払額 ▲694 百万円
- 投資CF
  - 設備投資 3,428 百万円
- 財務CF
  - 借入金の増加 634 百万円
  - リースの増加 146 百万円

- 8 -

・ 2012年3月期実績

・ 2013年3月期計画

・ 今後の事業戦略

-9-

## 2013年3月期 損益計画

(単位:百万円・%)

	FY2011 (通期実績)	FY2012			前期比
		(1Q-2Q計画)	(3Q-4Q計画)	(通期計画)	
売上高	47,690 (100.0%)	25,200 (100.0%)	25,800 (100.0%)	51,000 (100.0%)	+6.9%
営業利益	2,830 (5.9%)	1,650 (6.5%)	1,450 (5.6%)	3,100 (6.1%)	+9.5%
経常利益	2,710 (5.7%)	1,470 (5.8%)	1,270 (4.9%)	2,740 (5.4%)	+1.1%
当期純利益	1,493 (3.1%)	750 (3.0%)	750 (2.9%)	1,500 (2.9%)	+0.4%
EPS (円)	286.55	143.91	-	287.83	

【最近の5年間の業績推移】



# 売上高の品目分類別計画（半期毎）



（単位：百万円）



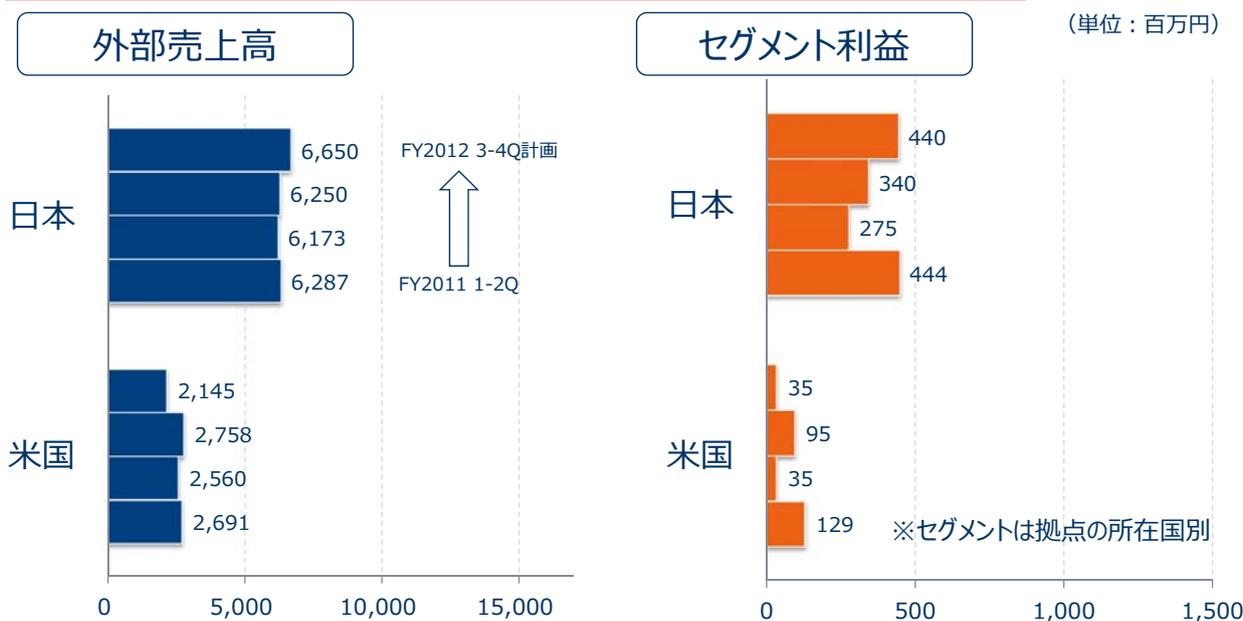
韓国新車用の等速ジョイントや欧州向けユニバーサルジョイントが今期も順調に推移。ウォーターポンプは電動ウォーターポンプを含め新車用の販売増加と前期後半苦戦した海外補修用の回復を見込む。ベアリングは、テンショナー・アイドル・ベアリング拡販と取扱製品の幅を広げ補修用市場での販売回復を図る。

-11-

# セグメント計画 日本・米国（半期毎）



（単位：百万円）

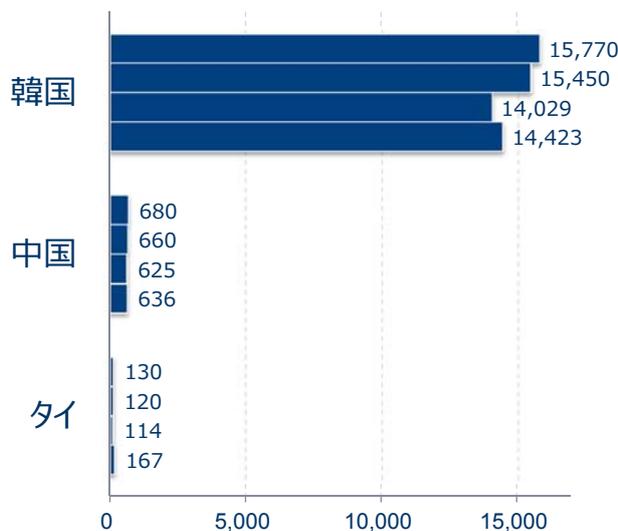


日本は、前半は前期からの海外補修用部品の販売低迷の影響を受けるが、在庫調整の一巡とコスト削減努力により後半から改善を図る。米国も、景気回復を受けて全般的に販売回復傾向であるが、補修用ウォーターポンプにおいて、後半減少を見込む。

# セグメント計画 韓国・中国・タイ（半期毎）



外部売上高



セグメント利益

(単位：百万円)



韓国は、引き続き新車用部品販売が順調に拡大する一方で、為替影響、人件費や調達コストの上昇により利益微増。中国の2拠点は増産効果に加えて生産効率化を進めコスト削減を図る。タイの生産拠点は、前半は補修用ウォーターポンプ生産量減少の影響を受けるが、後半より回復を計画。

# 設備投資・減価償却費



(単位：億円)

設備投資・減価償却費の推移



FY2012 設備投資計画の内訳

	投資額	主な内容
日本	6.0	維持・合理化
韓国	24.0	工場増築・増産対応 ・新規開発・更新 等
中国	6.0	増産対応・合理化
タイ	4.0	生産移管対応
計	40.0	

# 主要グループ企業の計画数値



## GMB (単体)

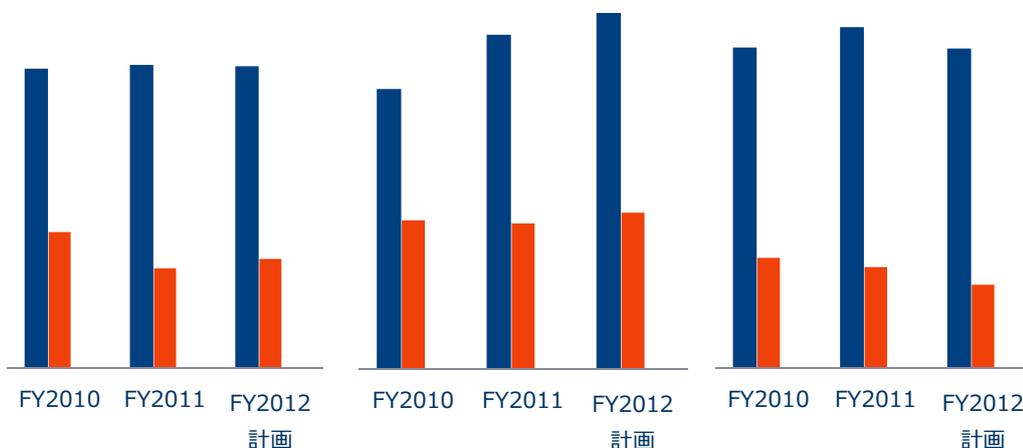
## GMB KOREA

## GMB NORTH AMERICA

■売上高 ■営業利益

■売上高 ■営業利益

■売上高 ■営業利益



(単位：百万円)

(単位：百万ウォン)

(単位：百万ドル)

売上高	16,466	16,671	16,600	354,597	423,277	460,000	61,509	65,415	61,300
営業利益	748	548	600	20,920	20,484	22,000	2,114	1,937	1,600
換算レート	-	-	-	0.0759	0.0721	0.0720	87.81	79.84	80.00

-15-



・ 2012年3月期実績

・ 2013年3月期計画

・ 今後の事業戦略

-16-

## 進むべき方向性と施策

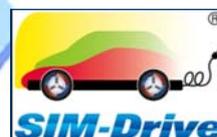
### ■ 既存基盤（規模・量産技術）を活かした成長と収益確保

製品	戦略・施策
ウォーターポンプ 	外部調達拡大によるコスト削減で競争力強化
ユニバーサルジョイント 	需要安定している欧州向けに中国工場の量産本格化
バルブスプール 	AT多段化による需要拡大ひと段落、顧客分散を図る
テンショナー・アイドラー・ベアリング 	未開拓の海外補修用市場開拓

## 進むべき方向性と施策

### ■ 今後の成長アイテムの開発と新たな加工技術の確立

- ユニバーサルジョイント・ステアリングジョイントのモジュール化
- 電動ウォーターポンプ関連技術の取り込み
- アルミダイカスト技術の深化
- Sim-Drive社への参画



## 進むべき方向性と施策

### ■ 新市場の開拓

- インド進出へ向けた調査・検討スタート
- 韓国系以外の新車用部品の横展開

### ■ コスト削減への取組

- 韓国・中国製の部品比率の拡大
- 主要材料の現地調達化推進

- 19 -

- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞  
GMB株式会社 経営管理室  
電話 : 0745-44-1912  
Email : [ir@gmb.jp](mailto:ir@gmb.jp)

# GMB 株式会社

## 事業内容説明資料

(2012年3月期)

( 証券コード : 7214 )

<http://www.gmb.jp/>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満で切捨して記載しております。



### 目 次

	ページ
GMBの概要	2
GMBの主要取扱製品	4
生産・販売ともにグローバルに展開	5
GMBの特徴	8



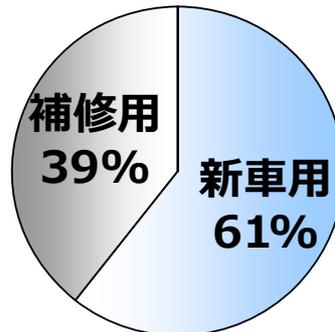
# GMBグループの概要

商号	: GMB株式会社	売上高	: 47,690 百万円 (単体 16,671 百万円)
創業	: 1943年 (昭和18年)	営業利益	: 2,830 百万円 (単体 548 百万円)
代表取締役会長	: 松岡 信夫	総資産	: 40,483 百万円 (単体 23,295 百万円)
代表取締役社長	: 阪口 有一	純資産	: 19,149 百万円 (単体 13,823 百万円)
所在地	: 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3		
事業内容	: ユニバーサルジョイント、ウォーターポンプなどの自動車部品製造・販売		
グループ会社	: GMB KOREA CORP.、GMB NORTH AMERICA INC.、青島吉明美機械制造有限公司、 ( 6 社 ) : 青島吉明美汽车配件有限公司、THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.、THAI KYOWA GMB CO.,LTD.		
従業員	: 2,700名 (単体 403名)		

日韓GMBを主体に補修用部品と新車用部品に取組む独立系自動車部品メーカー



補修用部品主体



新車用部品主体



# GMBグループの概要



# GMBの主要取扱製品

駆動・伝達・操縦装置用部品：売上構成比 52%

- ⊕ユニバーサルジョイント
- ⊕ステアリングジョイント



- ⊕バルブスプール



- ⊕サスペンション部品



注) 構成比は  
2012/3月期

エンジン部品：売上構成比 26%

- ⊕ファンクラッチ
- ⊕ウォーターポンプ



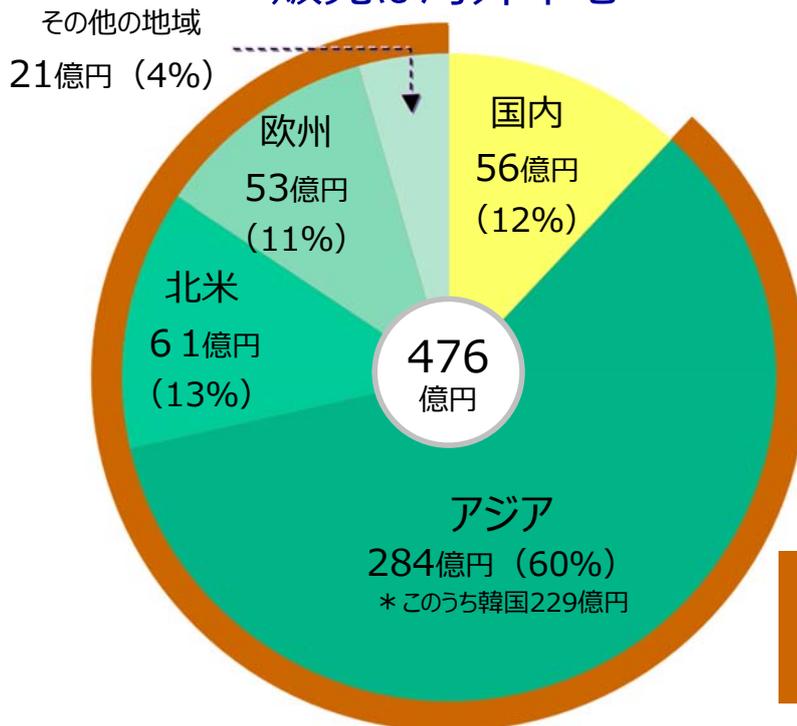
ベアリング他：売上構成比 22%

- ⊕テンショナー&アイドラー・産業用



# 生産・販売ともにグローバルに展開

販売は海外中心



海外売上高  
88%

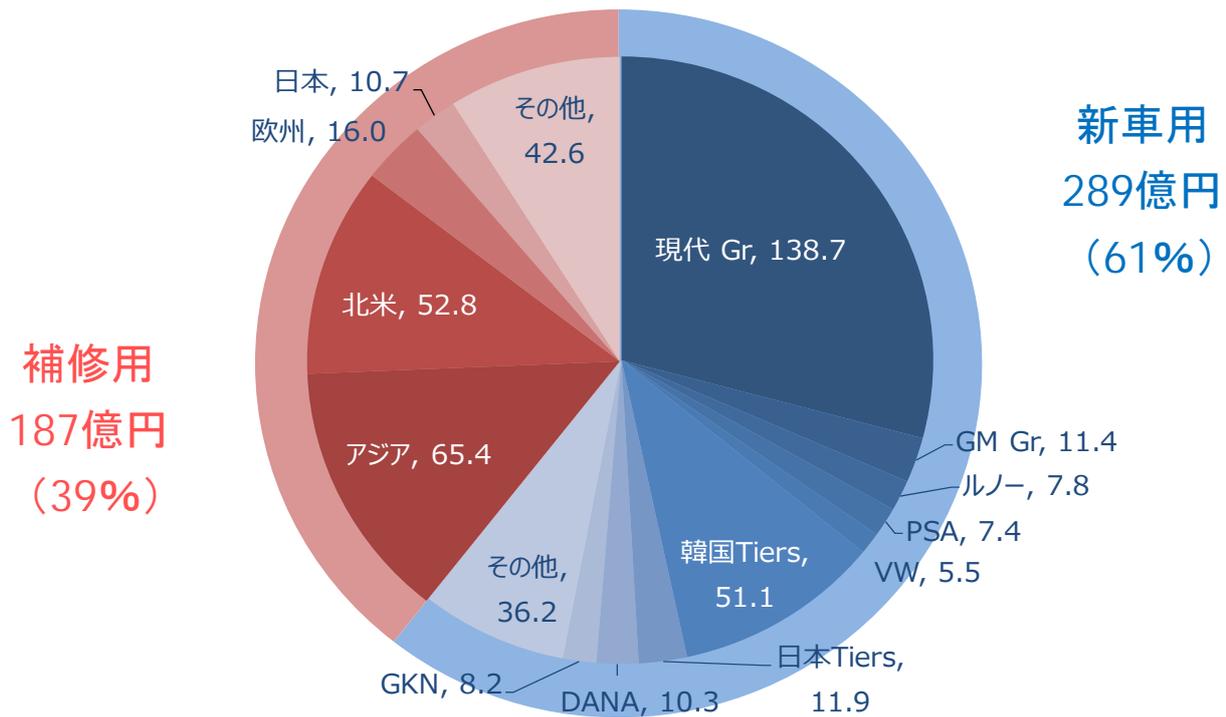
(注) 2012/3期連結ベース、括弧内は構成比



# 生産・販売ともにグローバルに展開

OEM相手先&補修用地域別売上構成

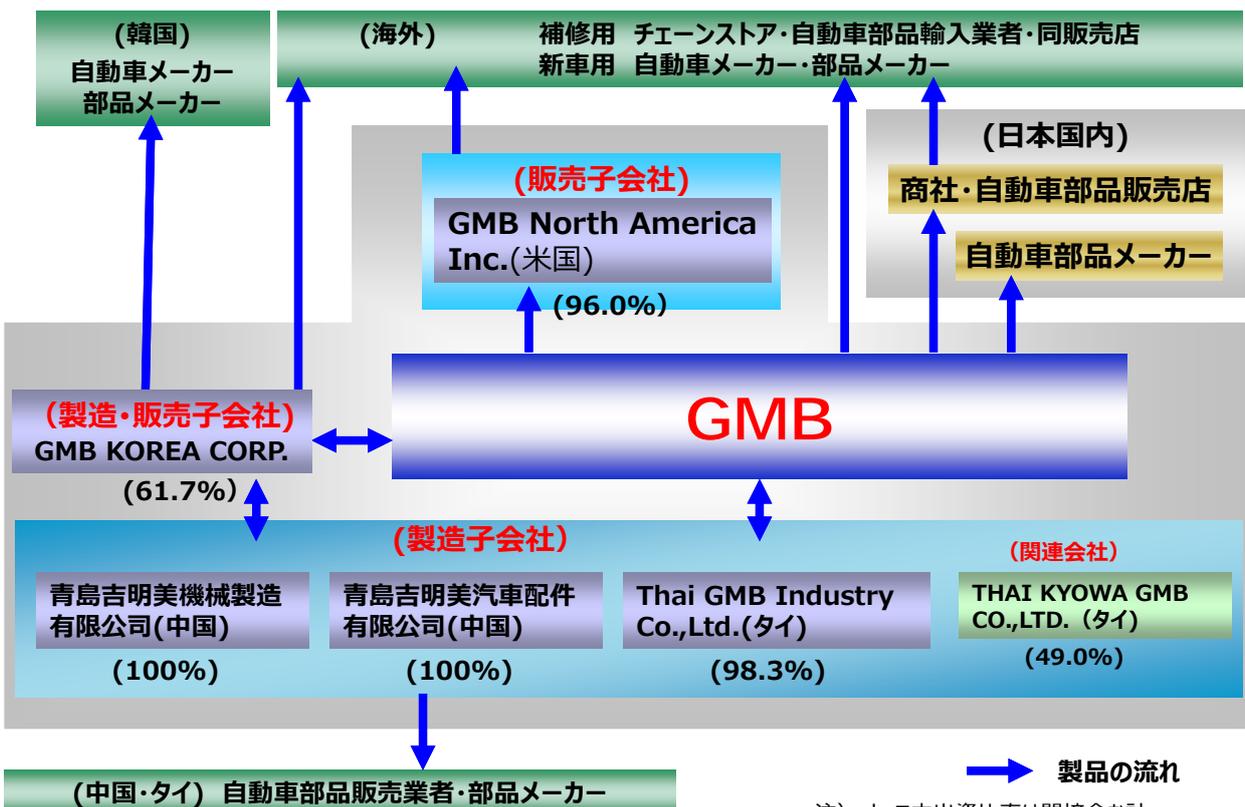
(単位：億円)



(注) 2012/3期連結ベース



# 生産・販売ともにグローバルに展開



注) カッコ内出資比率は間接含む計



# 特徴 海外補修用市場でブランド確立

## 海外市場

年間走行距離も長く、クルマは壊れることが当たり前  
 簡単な部品交換はDIY（自分で修理する）ユーザーも少なくない  
 道路や水質など使用環境の苛酷な途上国では交換需要はさらに増加  
 日本車は完成車メーカーの海外展開と中古車輸出で増加



いち早く海外市場へ目を向け市場を開拓・ブランド確立



海外顧客向け弊社「News Letter」

【参考】 補修用部品の交換需要関連データ

	乗用車 保有台数 (万台)	年平均 走行距離 (km)	車齢10年 を超える 保有数	平均車齢 (年)
日本	4,206	9,896	13%	5.84
米国	18,319	18,870	40%	8.30
フランス	2,748	14,100	30%	7.50

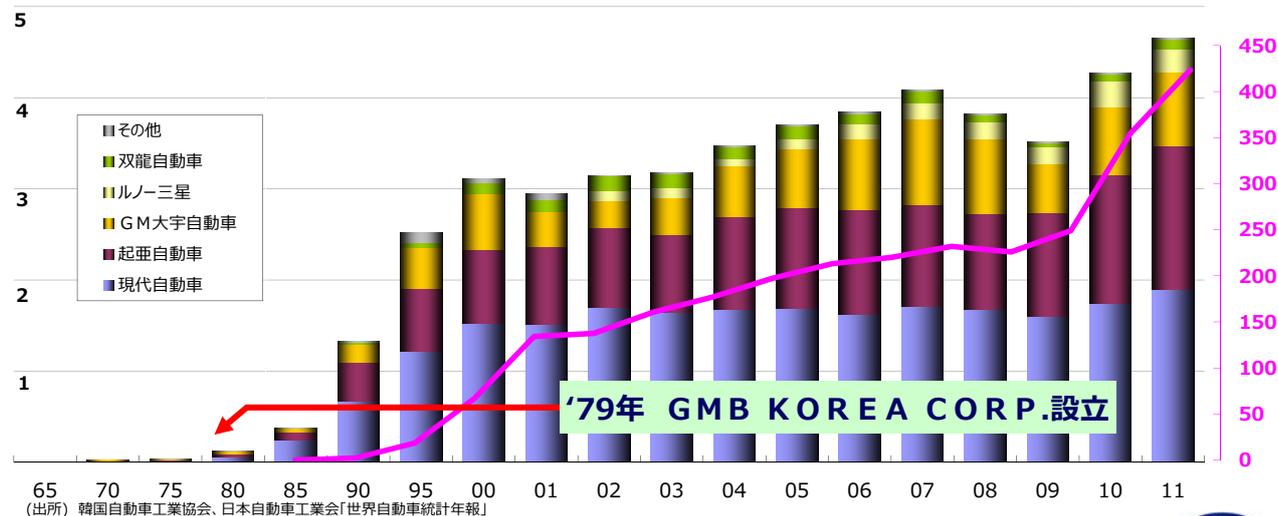
2002年3月JETRO「対日アクセス実態調査報告書（補修用自動車部品）」より



# 特徴 現代・起亜自動車とのつながり

- 韓国自動車黎明期の1979年に進出し国産化に貢献
- 現代自動車グループへの売上高比率31%（12年3月期）
- 韓国車は米国・新興国を中心に海外市場で販売好調

(単位：百万台) 韓国自動車生産台数（棒グラフ）と GMB KOREA CORP. の売上高（折れ線グラフ）の推移 (単位：10億W)



(出所) 韓国自動車工業協会、日本自動車工業会「世界自動車統計年報」

